

報告書〔1〕 分析結果及びフローシート

1 ふっ素

分析実施機関名		整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001 2. ISO 9002 3. ISO 9003 4. ISO 14001 5. なし
分析主担当者名		*		分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

注1) 分析結果 (mg/l)	標準偏差 (mg/l)	測定回数 (回)

注1) 2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

< 吸光光度法 >

試料の適量

フェノールフタレイン溶液(5g/l) 2,3 滴
水酸化ナトリウム溶液(100g/l)

微アルカリとする

加熱濃縮 約30mlまで

蒸留フラスコ

二酸化けい素約1g
りん酸1ml
過塩素酸40ml ㉔

加熱

約140
水蒸気

蒸留

受器：水20mlを居れた250ml全量フラスコ
液量約220mlまで
洗液
水

250mlとする

適量を分取 ㉕

ランタンアリザリソコフレキノ溶液20ml ㉖
水

50mlとする

放置 約1時間

吸光度測定 620nm ㉗

< イオンクロマトグラフ法 >

試料

ろ過 ㉘

ろ液

(試料の希釈) ㉙ ㉚

イオンクロマトグラフへの注入 ㉛

定量 ㉜

< 分析法 >

分析法	1. ランタンアリザリソコフレキノ吸光光度法 2. イオンクロマトグラフ法 3. その他()
-----	--

< 吸光光度法 >

試料の分取量	㉕()ml
蒸留での酸の種類	㉖ 1. 過塩素酸 2. 硫酸
留液の分取量	㉗()ml
ランタンアリザリソコフレキノ溶液の調製方法	㉘ 1. 試薬を混合して調製 2. 市販のアルファツツを使用
ふっ素の回収率	㉙()%

< イオンクロマトグラフ法 >

試料のろ過	㉘ 1. 行う 2. 行わない
試料の希釈 希釈した場合	㉙ 1. 行う 2. 行わない 希釈倍率㉚()倍
イオンクロマトグラフへの注入量	㉛()μl
装置 型式 メーカー名	㉜ 1. サフレッサー型 2. ノンサフレッサー型 ()
カラム 型式 メーカー名	() ()

(注) クロマトグラムには、ベースラインを引いてください。

< 検量線の作成等 >

検量線	作成点数㉕() 濃度範囲㉖()~㉗() μg(注入量) 最高濃度の指示値㉘() 空試験値(指示値)㉙()
試料の指示値	指示値㉚()

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

前処理について	-----
測定方法について	-----